

### 会社概要

商号	株式会社IMAGICA GROUP (IMAGICA GROUP Inc.)
創立	1935年2月18日
本店所在地	東京都港区
事務所所在地	〒105-0022 東京都港区海岸一丁目14番2号
資本金	33億600万2,543円
代表者	代表取締役会長 長瀬文男 代表取締役社長 布施信夫
従業員数	4,472名 (1,220名)

※ 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は( )内に外数で記載しております。

### 株式の状況

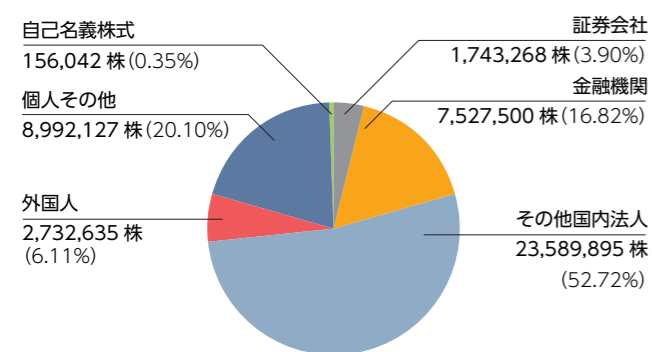
発行可能株式総数	150,000,000 株
発行済株式総数	44,585,425 株 (自己株式156,042株を除く)
1単元の株式の数	100 株
株主数	12,226 名

### 大株主 (上位10名)

	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社クアーク	20,642	46.29
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	4,992	11.19
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,837	4.12
GOVERNMENT OF NORWAY	581	1.30
IMAGICA GROUP従業員持株会	577	1.29
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	424	0.95
株式会社クアークホールディングス	400	0.89
株式会社SBI証券	356	0.79
株式会社TBSテレビ	320	0.71
株式会社福岡銀行	282	0.63

※ 持株比率は自己株式数(156,042株)を控除して算出しております。

### 株式の分布状況



### 役員 (2023年6月27日付)

代表取締役会長	長瀬 文男
代表取締役社長 社長執行役員	布施 信夫
取締役 専務執行役員	森田 正和
取締役 執行役員	長瀬 俊二郎
取締役	村上 敦子
取締役 監査等委員	千葉 理
	山川 丈人
	中沢 ひろみ
執行役員	奥野 敏聡
	中村 昌志
	志村 晶
	篠原 淳
	瀧水 隆
	吉沢 雅治

※ 村上 敦子氏、千葉 理氏、山川 丈人氏、中沢 ひろみ氏は会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

### 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 0120-782-031(フリーダイヤル) <a href="https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/">https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/</a>
公告方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL	<a href="https://www.imagicagroup.co.jp/ir/announcement.html">https://www.imagicagroup.co.jp/ir/announcement.html</a>
上場証券取引所	東証プライム市場
証券コード	6879

● 公式Twitter  
 @IMAGICAGROUP  
<https://twitter.com/IMAGICAGROUP>

## 2023年3月期 株主通信

2022.4.1 ▶ 2023.3.31 | 証券コード6879



グループ各社の紹介とグループの連携事例や最先端技術を用いて創出した新しい映像体験などをお披露目するIMAGICA GROUP総合力展「IMAGICA GROUP EXPO」を開催しました。



株主、投資家の皆さまにおかれましては、日頃より当社グループ事業への多大なるご理解と、厚いご支援を賜り心より御礼申し上げます。

2022年は新型コロナウイルス感染症による行動制限が徐々に緩和してきたことで、エンタテインメント業界では、劇場映画やリアル会場での音楽ライブ、スポーツイベントの入場制限などが少しずつに撤廃され、また会場での声出し応援が解禁されるなど、コロナ禍前の日常へ戻りつつある1年間となりました。

中期経営計画「G-EST2025」の2年目となる2022年度（2023年3月期）は、国内外の動画配信事業者向けE2Eサービスが好調に推移し大幅に伸長したことなどで、売上高は941億円（前年比17.4%増）、のれん等償却前営業利益は57億円（前年比11.8%増）、営業利益38億円（前年比13.2%増）と2桁の増収率・増益率を達成し、売上高・営業利益ともに中期経営計画を上回る結果となりました。また2023年度は「基盤確立から成長路線へ舵をとる年」として位置づけ、業績予想は売上高1,000億円、のれん等償却前営業利益59億円、営業利益40億円と営業利益では3期連続での増益を目指すことといたしました。

昨年の11月には、当社グループによる初の展示会、IMAGICA GROUP総合力展『IMAGICA GROUP EXPO』を開催しました。この展示会は、関係取引先の皆さまにグループの総合力を知っていただくのが目的であると同時に、「グループ内でもっとお互いを知り、シナジーを生み出していく」そして、「グループ外の新たなパートナーとも共創してイノベーションを起こしていく」というメッセージの発信が目的でした。ご来場されたお客さまやグループ従業員の方々から、たくさんのご好評の声や今後への期待をお寄せいただくことができ、これからのグループのポテンシャルを発揮していくための起爆剤になったのではと認識しております。当日の様子や展示内容につきましては当社ホームページにてレポートサイトを公開しておりますので、ぜひご覧ください。（レポートサイトは下記のURLをご参照ください。）

ここに株主通信をお届けし、2022年度の決算概要と2023年度の事業計画および中期経営計画「G-EST2025」の進捗状況についてご報告申し上げます。株主、投資家の皆さまにおかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 布施 信夫

レポートサイトはこちら

<https://www.imagicagroup.co.jp/groupexpo2022/report.html>

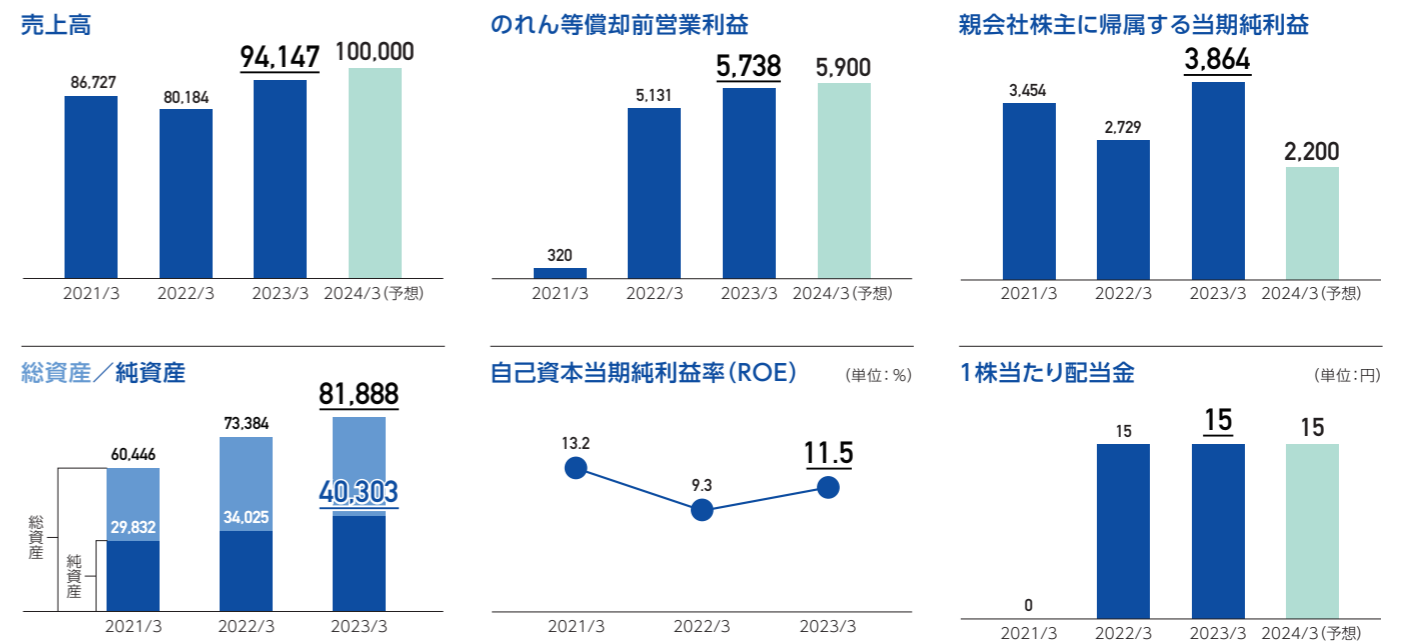


2023年3月期決算概要

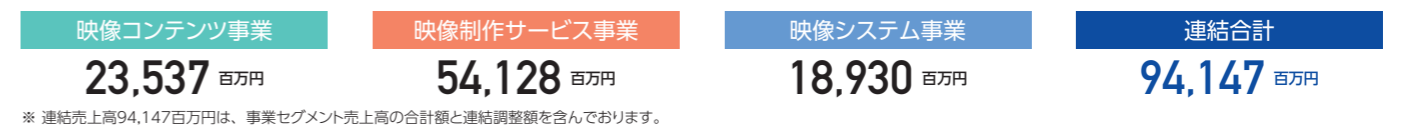
当連結会計年度における当社グループの業績は、売上高は941億47百万円(前年同期比17.4%増)、営業利益は38億68百万円(前年同期比13.2%増)、経常利益は36億38百万円(前年同期比7.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は38億64百万円(前年同期比41.6%増)となりました。なお、経常利益につきましては、前年に助成金収入を含む営業外収益を8億75百万円計上したため減益となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、当年に移転補償金を含む特別利益の計上により増益となりました。

連結決算ハイライト

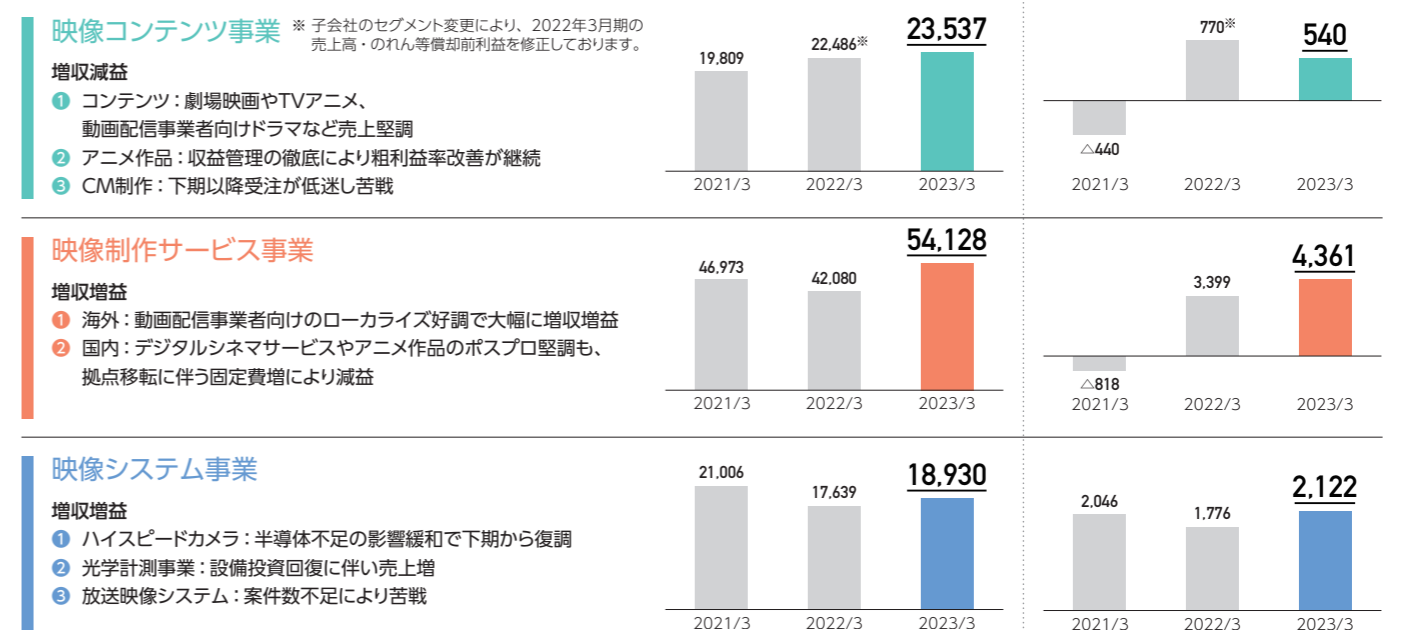
(単位:百万円)



セグメント情報(2023年3月期売上高)



セグメント別総括(単位:百万円)

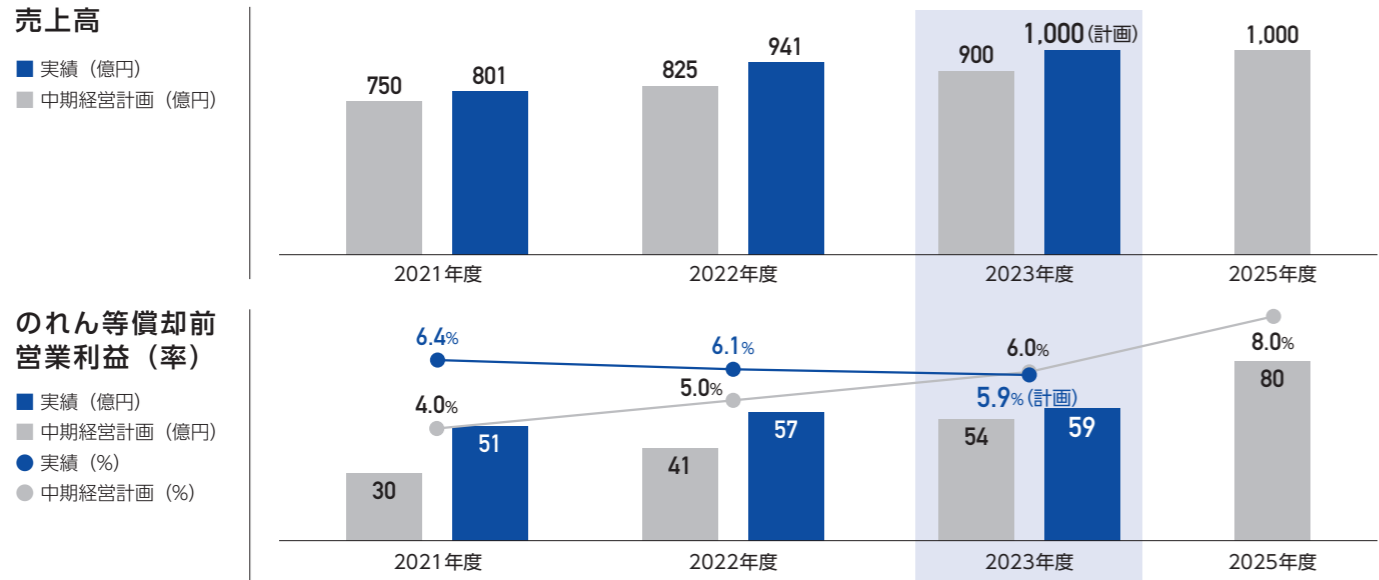


「中期経営計画「G-EST2025」の進捗について

2021年度に策定した中期経営計画「G-EST2025」は、4つの基本戦略とそれらを支える3つの戦略的施策(DXによる経営改革、技術開発力強化、人材の確保・活性化)、SDGsの取り組みから成り立っており、2025年度目標売上高1,000億円、のれん等償却前営業利益率8%の実現に向けて事業を推進してまいりました。

中期経営計画の2年目となる2022年度は、国内外の動画配信事業者向けE2Eサービスが好調に推移し大幅に伸長したことなどで、売上高は941億円、のれん等償却前営業利益は57億円(利益率6.1%)と中期経営計画を上回る結果となりました。また2023年度の業績予想は売上高1,000億円、のれん等償却前営業利益59億円(利益率5.9%)といたしました。

中期経営計画「G-EST2025」 売上高とのれん等償却前営業利益の推移



再設定した基本戦略と経営指標 — 「収益性の向上」に重点を置いた基本戦略

中期経営計画に掲げた2025年度に目指す姿「高収益体質のグループ」を実現するためには「収益力の向上」が重要課題であると認識したことから、それぞれの戦略方針を見直すとともに「ゲーム関連事業の拡大」を新たな戦略に加えしました。今後は5つの基本戦略に基づき、新しい経営指標である2025年度目標売上高1,100億円、のれん等償却前営業利益率8%、さらにEBITDA110億円の達成を目指して、様々な施策に取り組んでまいります。

5つの基本戦略

- グローバルE2E事業**：成長急拡大から安定成長へ移行、収益性を高め営業利益率10%以上を目指す
- ライブエンタテインメント事業**：成長事業領域での成長を継続するとともに、ストックビジネスへのシフトを目指す
- 映像システム事業**：ビジネスモデルの変革・新規事業へのシフトを確実に進め、堅実な成長と高収益体質(営業利益率12%)を堅持
- ゲーム関連事業**：グループの成長を牽引する新たなドライバーとして位置づけ、M&Aによる拡大も含め売上高150億円、営業利益率10%以上を目指す
- 変革事業**：収益体質改善に取り組み、営業利益率5%を確保

経営指標	当初目標	再設定目標
売上高	1,000億円	1,100億円
のれん等償却前営業利益率	8%	8%
EBITDA	-	110億円

※ 上記、5つの基本戦略ごとの施策や目標数値などは、2023年5月に開催した決算説明会にてご説明しております。詳細については、当社IR資料室をご覧ください。

IR資料室 <https://www.imagicagroup.co.jp/ir/library/>

01

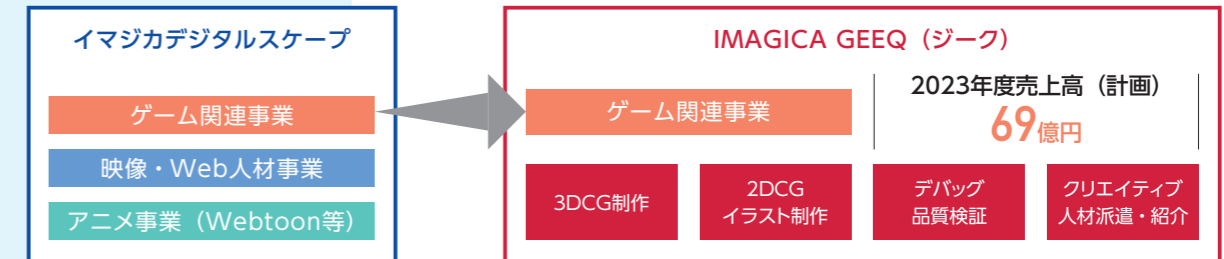
GROUP TOPICS

ゲーム関連事業の新会社設立と事業拡大

2023年4月に、グループ成長事業の1つとするため、ゲーム関連事業を分社化して、新会社、株式会社IMAGICA GEEQ (ジーク) を設立しました。今後既存事業の拡大と新規事業領域への展開により、2025年度には売上高150億円、のれん等償却前営業利益率10%以上を目指してまいります。



IMAGICA GEEQのURLはこちら <https://www.geeq.co.jp/>



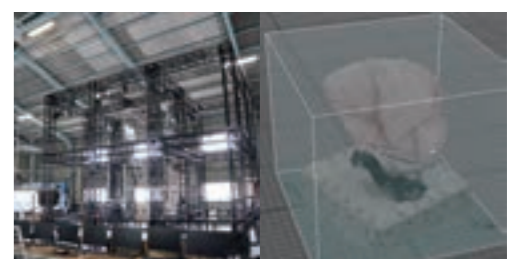
02

GROUP TOPICS

映像システム事業：自動車開発市場向けの3D動画を活用した新サービス開始

40方向以上から高速現象を撮影し、3Dモデル動画化を可能にする「High Speed Volumetric Capture (HSVC)」

当社グループでは、1秒間に1,000枚以上の撮影が可能なハイスピードカメラ41台を用いて対象を撮影し、そこから取得した膨大な画像データを合成・最適化して3Dモデル動画にする技術「High Speed Volumetric Capture(ハイスピードボリュメトリックキャプチャ)」の開発に成功しました。この技術を活用することにより、従来の解析シミュレーションソフトでは数か月はかかっていた開発工数を、たった数日に短縮することが期待できます。当社グループは、この技術が自動車エアバグ展開試験など自動車開発市場のみならず、産業分野におけるあらゆる製品開発に活用されることを目指してまいります。



・栃木テクニカルセンターに新しく設置した試験設備 (左)  
・3Dモデル動画によるエアバグ展開の様子 (右)

詳細はこちらをご参照ください。 <https://www.photron.co.jp/support/imaging/hsvc.html>

03

GROUP TOPICS

変革事業：IP創出による収益拡大  
ライトノベル大型作品のTVアニメ化

イマジカインフォスのライトノベルレーベル「ヒーロー文庫」より発行しているシリーズ累計発行部数2,100万部(電子書籍含む)を突破した大ヒット作品『薬屋のひとりごと』のTVアニメ化が決定しました。本作のアニメーション制作を株式会社OLMが担当します。当社グループは良質なストーリーを育成し、グループ各社の強みを掛け合わせながら多面的なメディア展開に結びつけていくことで、IP創出のさらなる強化を図ってまいります。



© 犬塚惇平 著、エナミ カツミ 絵、イマジカインフォス 発行  
© 日向夏・イマジカインフォス / 「薬屋のひとりごと」製作委員会

詳細は当社ニュースリリースをご覧ください。 <https://www.imagicagroup.co.jp/news/2022/2023021601>

当社はSDGsの取り組みを発展させて、サステナビリティ全般の活動を総合的かつ横断的に推進しています。

サステナビリティ方針

当社は、「世界の人々に“驚きと感動”を与える映像コミュニケーショングループ」という経営理念のもと、当社グループの持続的な成長を実現するとともに、“映像”を軸にした様々な活動を通じて社会の多様なニーズにお応えすることで、豊かで持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

サステナビリティ委員会の設置

当社は新たに代表取締役社長を委員長とする「サステナビリティ委員会」を設置いたしました。サステナビリティ委員会では、サステナビリティに係る重要方針・取り組みの策定、経営戦略の反映を行います。今後、人的資本経営や気候変動対応、リスクマネジメント、SDGsなどサステナビリティ全般に関する活動を総合的かつ横断的に取り組んでまいります。



【SDGsへの取り組み事例】

SDGsの取り組みについても、これまで以上に積極的な活動を通じて、豊かで持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

CREDUCTION ACADEMY

当社グループの総合力を活用した子供体験教室「CREDUCTION® ACADEMY」をスタートしました

本プロジェクトは、“映像”を通じた学びの機会を子供たちに提供することで、SDGsが掲げる目標「04.質の高い教育をみんなに」「17.パートナーシップで目標を達成しよう」に貢献してまいります。

CREDUCTION® ACADEMY活動報告はこちら  
<https://www.imagicagroup.co.jp/sustainability/creduction-academy/>



第1弾 「2100年の天気予報 未来の気象キャスターになろう!!」

当社グループ会社ウェザーマップ所属の気象予報士（國本未華、小林正寿）が講師となり、2100年に起こりうる気象や環境問題などを学ぶ座学と最先端のバーチャル機材を活用した演出で、子供たちが「未来の気象キャスター」を体験できるワークショップを開催しました。



第2弾 港区「学びの達人プロジェクト」に当社グループが協力

港区教育委員会と東京大学先端科学技術研究センターが主催の「学びの達人プロジェクト」に協力しました。当社グループ会社P.I.C.S.所属の、くろやなぎてっぺい(P.I.C.S. management)さんをお招きし、「ひらめきの科学」というテーマをもとに、ワークショップを行いました。



▶ ホームページのリニューアルお知らせ

前回の株主さまアンケートにて、株主の皆さまから「ホームページの内容充実」というご要望が多く寄せられたことから、2023年4月より当社のホームページを一部リニューアルいたしました。

今回のリニューアルでは、より分かりやすく、使いやすいホームページを目指して、ページ構成を見直し、IR情報をはじめ当社グループがご提供するサービス内容の充実を図っております。

これまで以上に、当社ホームページをご利用いただく皆さまに有益な情報をお伝えできるように努めてまいります。

当社ホームページはこちら  
<https://www.imagicagroup.co.jp/>



トップページ



時期に合わせたコンテンツをお届けするスライド形式に変更しました。

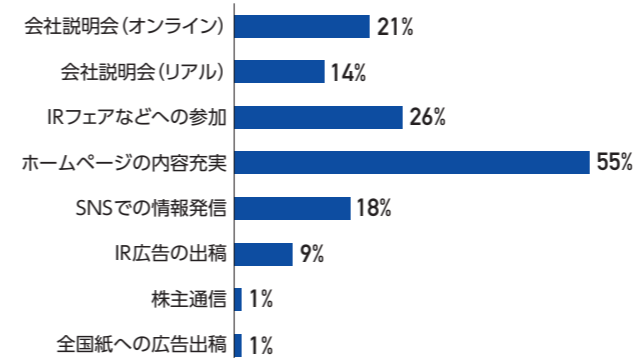
IR情報ページ



当社への投資をご検討の方が必要な情報を一か所にまとめ、閲覧性を向上させました。

▶ 前回の株主さまアンケート結果 (一部抜粋)

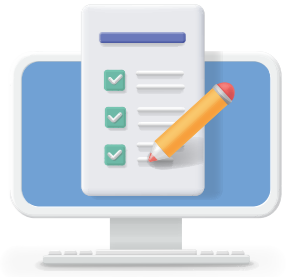
Q: 当社のIR活動について  
 充実を希望することは何ですか? (複数回答可)



▶ 株主さまアンケートご協力のごお願い

【実施期間: 8月20日(日)まで】

株主の皆さまの率直なご意見・ご感想をぜひお聞かせください。今後のIR活動および株主通信制作等の参考にさせていただきます。メールアドレスをご記入いただいた方の中から抽選で5名さまにムビチケカード(3,000円分)をプレゼントします。



アンケートURL :  
<https://forms.gle/6qTqQpvCRrRn5NTA7>



映画公開情報

ROBOT制作「最後まで行く」2023年5月19日(金)公開

人をはねた刑事、追う監察官。  
 金、農、裏切りに翻弄される  
 二人の96時間ノンストップ エンターテインメント



©2023映画「最後まで行く」製作委員会

P.I.C.S.制作  
 「岸辺露伴 ルーヴルへ行く」  
 2023年5月26日(金)公開

絶対的な黒が映すもの、それは――  
 「黒い絵」に宿る謎、美の殿堂に隠された暗部、そして露伴自らの知られざる過去とは一観る者を深淵なる世界へと誘う、極上サスペンス。  
 荒木飛呂彦原作「ジョジョの奇妙な冒険」の傑作スピンオフ、遂に映画化



©2023「岸辺露伴 ルーヴルへ行く」製作委員会  
 ©LUCKY LAND COMMUNICATIONS / 集英社